

地球温暖化対策報告書（その1）

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあつては名称 及び代表者の氏名)	株式会社大塚商会 代表取締役社長 大塚裕司			
事業者番号	A	0	7	79

2 報告する事業所等の全体の状況（平成22年度）

条例第8条の23第1項 報告事業所数	21 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	3,052 kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	1 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	6 kl

3 事業者としての取組

取組方針	環境目標：地球温暖化防止のため、2005年度比12%以上のCO2排出量を削減する。			
組織体制の 整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A106	本社等による支店の支援
	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A110	外部専門家への相談依頼の実施
	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供		

4 特記事項

<p>●7年度の夏期節電対策</p> <p>1. 目標 本社ビル（大規模事業所）は、昨年最大電力の25%削減を目標とし、 その他ビルは、昨年電力使用量の15%削減を目標とする。</p> <p>2. 対策 ・事務室の照明は照度を下げて点灯、室内温度を28℃に徹底。 ・OA機器使用台数を見直し、PCはデスクトップからノートへの交換推進。 （ノートPC使用時はピーク時にバッテリーを使用する） ・その他では、建物に設置している看板、不要な外灯は消灯し、就労者の残業、 休日出勤を控えるようにする。</p>
--